

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館施設維持管理				整理番号	841		枝番号	865	
担当部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	865
係名 管理係					上位施策名					No	
予算事業名 図書館維持管理					コード	83100		図書館サービスの充実			63
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 57年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第2項 (2) 図書館法第2条、第3条、第10条 (3) 杉並区立図書館条例、同運営規則						
	図書館利用者				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 図書館の施設維持管理、電子計算機の維持管理を通じて、図書館利用者の利便性の向上を図る。				快適で利便性が高い図書館施設の維持管理を確保し、図書館利用者に対してよりよい環境を提供する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 図書館年間開館日数(11館累計)				(1) 図書館年間利用者数							
(2) ホームページ稼働日数				(2) ホームページアクセス件数							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		日	3,176	3,230	3,257	3,266	3,630	3,630	90.0	
	活動指標(2)		日	364	365	364	365	365	365	100.0	
	成果指標(1)		人	2,616,056	2,637,658	2,659,707	2,503,274	2,750,000	2,850,000	87.8	
	成果指標(2)		件	287,228	477,890	500,000	625,436	650,000	700,000	89.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	352,466	338,980	376,935	339,557	462,069	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	119,483	106,175	123,345	107,359	186,497			
	職員数(常勤 非常勤)		人	3.20 0.00	3.44 0.00	3.20 0.00	5.56 0.00	5.20 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	29,066	30,937	29,120	50,596	47,320			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	381,532	369,917	406,055	390,153	509,389			
	単位あたりコスト ÷		円	120,130	114,525	124,671	119,459	140,328			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	381,532	369,917	406,055	390,153	509,389				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.3	活動指標(2)の16年度達成率%	100.3	16年度予算執行率%	90.1	中央図書館建物総合管理委託で落札差金・設計差金が生じたこと、また節電等による光熱水費に実績残が生じたこと			
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・高井戸区民センター図書室との連携を実施し、区民センターから図書館資料の利用が可能となった。 ・図書館ホームページの修正を行い、携帯電話から予約サービスを実施した。 ・(仮称)読書の森公園の基本実施設計をおこなった。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・平成14年から月曜日で祝日法に規定する休日にあたる日を、平成15年から年末12月30日までを、開館日とした。また通年開館を平成16年度から中央図書館で、平成17年度から地域図書館で実施した。 ・平成13年度、図書館ホームページを開設し、平成14年10月よりインターネットによる予約サービスを開始し、平成16年度からは携帯電話からの予約サービスを実施した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・利用者用インターネットPCの設置 ・ホームページを使ったサービスの充実
	今後の予測	・地域の情報の拠点として、ホームページを利用した情報発信や情報提供等、図書館の情報化の推進が求められる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：施設維持を適正に行うことで、区民が安心して施設利用が可能となる。また、通年開館を実施できた。 ・インターネットサービスを開始し、24時間・365日のサービスを実施した。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容： ・施設等の現状保全にかかる経費の為。 理由または具体的内容：
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容： 多目的室の目的外利用による使用料の徴収。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容： 電子計算組織の管理と運用を民間に委託することで人件費等のコスト削減が可能。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	理由： 理由または具体的内容： ・施設保守管理については、民間に委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み ・電子計算組織の管理については、次期入替え時にシステムの設置、及び運用を全面的に民間に委託する

今後の事業のあり方(中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 電子計算組織の管理について、18年度中にシステムの再構築を行い、運営を民間へ委託する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 新システムへ移行するにあたり、臨時休館や不具合などサービスの一時的な低下が考えられる。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	区内14館構想に基づき図書館が整備されることにより、光熱水費、建物管理委託等の経費が増加するため。18年度は今年度開館する方南図書館の光熱水費等がまるまる1年間分予算計上する必要がある。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館運営奉仕活動				整理番号	842		枝番号	866		
担当部課名		中央図書館		コード	620134		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	866	
係名		サービス係				上位施策名			No			
予算事業名		図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実			63		
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		57年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第2項							
	図書館利用者		(2) 図書館法第2条、第3条、第10条									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		(3) 杉並区立図書館条例、同運営規則									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		リクエストサービス、東京都等の他自治体図書館との相互貸出、学校等への団体貸出を行う。また、映画会やお話会を開催し、幅広い世代の利用者を対象に図書館サービスを提供している。									
活動指標名(式)		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）										
(1) 図書館年間開館日数(全11館総累計)		今後とも図書館サービスの向上と充実を図り、区内全図書館の利用者の更なる拡大と増加を目指す。										
(2) 図書館利用者登録者数(累計)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
		(1) 図書館年間利用者数(全11館総累計)										
		(2) 年間貸出冊数(全11館総累計)										
指標	区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
	活動指標(1)	日	3,176	3,230	3,257	3,266	3,630	3,630	90.0			
	活動指標(2)	人	124,904	125,031	135,000	123,796	130,000	150,000	82.5			
	成果指標(1)	人	2,616,056	2,637,658	2,659,707	2,503,274	2,750,000	2,850,000	87.8			
成果指標(2)	冊	3,765,861	3,890,916	3,923,441	3,617,904	4,000,000	4,200,000	86.1				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	24,906	24,858	31,307	24,365	43,288	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費	千円	423	423	559	681	1,373					
	職員数(常勤 非常勤)	人	126.46 37.00	132.80 35.58	126.09 34.50	125.33 35.80	105.30 42.80					
	人件費	千円	1,148,636	1,194,403	1,147,419	1,140,503	958,230					
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,148,636	1,194,403	1,147,419	1,140,503	958,230					
	非常勤職員分	千円	108,595	98,165	99,360	103,104	123,264					
	総事業費 ++	千円	1,282,137	1,317,426	1,278,086	1,267,972	1,124,782					
	単位あたりコスト ÷	円	403,696	407,872	392,412	388,234	309,857					
	財源	千円										
	受益者負担分	千円										
国・都等からの支出金	千円											
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -	千円	1,282,137	1,317,426	1,278,086	1,267,972	1,124,782						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.3	活動指標(2)の16年度達成率%	91.7	16年度予算執行率%	77.8	15年度に引き続き、事業の実施にあたり担当の職員が工夫して手作りで対応するなど、極力経費節減に努めた。				
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	リクエストサービスについては、インターネットサービスの実施によって年々増加している。また、大学図書館との連携実施に伴い、これからは大学と協働して、新たな分野の講座・講演会事業の実施が考えられる。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・開館時間の延長 ・貸出冊数の制限撤廃と貸出期間の延長
	今後の予測	・図書館未整備地域における図書館建設と代替措置としてのサービスコーナー等の設置 ・大学図書館との更なる連携強化と拡充 ・インターネットからのリクエスト件数の増加
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 子どもの感性を磨き、表現力を高めて創造力を豊かにする。また、高齢者の生涯学習の支援など、あらゆる世代の区民を対象に図書館が果たしている役割は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 今後を予測するならば、現行の図書館運営ではより効果的な成果は期待できない。専門的な分野については、民間や法人等に運営や事業実施の一部又は全部の委託化を推進する必要がある。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 図書館法第17条により、公立図書館における入館料等は無料であることが規定されている。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容: 運営の一部又は全部を民間や法人等に委託する。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 委託先企業のプロポーザル選定を行った。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託] (具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 図書館の通年開館の実施をはじめ、現在の図書館運営では特に人的措置の面から、利用者のニーズに十分応えていくには限度がある。人件費の抑制など運営に関しては民間企業や法人等に、そして、より専門的な事業実施に関してはNPOやボランティア等にその一部又は全部を委託していく必要がある。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・利用者のニーズの高度化への対応 ・民間企業や法人等の利潤追求への対処
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館建設				整理番号	843		枝番号						
担当部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	867				
係名				地域図書館開設準備担当				上位施策名			No				
予算事業名				図書館建設				コード	83250		図書館サービスの充実			63	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		15年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 図書館法								
	主に図書館未整備地域の区民、保育園、児童館、小中学校						(2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				杉並区基本計画に基づき、地域図書館未整備地域である方南地域に図書館を建設する。 平成15年度 設計 平成16年度～17年度 建設工事 平成17年11月 開館予定		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 図書館未整備地域の区民、保育園、小学校等団体の図書館利用が容易になり、きめこまやかな対応をすることが可能になる。杉並区内全体の蔵書規模が拡大し、利用者全体の図書サービスが充実する。								
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1)						(1)									
(2)						(2)									
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
			計画	実績	計画	実績									
指標	活動指標(1)														
	活動指標(2)														
	成果指標(1)														
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0		11,935		178,473		163,744		249,404		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	0		11,827		135,114		125,481		137,614			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.00	0.00	1.68	0.00	1.56	0.00	1.67	0.00	1.60	0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0		15,110		14,196		15,197		14,560		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	0		27,045		192,669		178,941		263,964			
	単位あたりコスト ÷		円												
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	0		27,045		192,669		178,941		263,964				
受益者負担比率 ÷		%			0.0		0.0		0.0		0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%				活動指標(2)の16年度達成率%				16年度予算執行率%					
		16年度～17年度の2年間にわたり、図書館施設建設工事を営繕課に執行委任し実施している。あわせて、16年度から所蔵図書の購入を開始し、予定冊数の購入を行った。													
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		建設工事を16年度より17年度まで、債務負担行為で行っている。 平成17年度には、西荻地域2館目の新図書館建設にむけて住民説明会を行い、基本設計、実施設計を行う。													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区基本計画に基づき1地域に2館図書館を整備し、区内に14館の図書館を整備する予定。未整備地域3地域の図書館建設を計画的に進めている。		
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	(仮称)方南図書館建設に対し、当初予定していた建設面積の拡大等の要望が住民説明会で出され、検討後図書館床面積の拡大、多目的室の追加設置等を行った。		
	今後の予測	1地域に2館図書館が整備されていない未整備地域2地域に、地域図書館2館の建設を計画している。		
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 図書館未整備地域に建設することにより、その地域の住民や利用者が図書館を利用しやすくなる。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 建設については、設計、建築工事等について民間事業者へ委託し実施している 理由または具体的内容:		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区立図書館の建設事業であり、利用者への負担は、図書館法の趣旨から困難である。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 設計、建築工事等委託により実施している。		
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 設計、建築、電気、機械等各専門企業に委託している。		
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 未整備地域の図書館建設について、各専門企業に委託し実施する。		

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成16年度～17年度に建設工事を行い、17年11月に開館を予定している。 未整備地域のうち西荻地域について、17年度設計を予定している。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 西荻地域の2館目の図書館について、17年度に設計を行い、18年度に既存建物の解体し、図書館建設を開始する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		大学図書館との連携				整理番号	844		枝番号
担当部課名		中央図書館		コード	620131	連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号
係名		サービス係		上位施策名				No	
予算事業名		図書館運営管理		コード	82360	図書館サービスの充実			
事業開始年度		○昭和 ●平成		16年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業			
事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区立図書館及び杉並区内大学・短期大学図書館の相互協力に関する協定書					
区民図書館利用者		(2)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(3)							
生涯学習の発展及び大学・短期大学の教育・研究の発展に寄与することを目的に、杉並区立図書館と協定館が相互に協力しあうとともに、協定館が所有する資料の閲覧、館外貸出し、協定館が実施する事業や行事への参加を通じて、区民の生涯学習活動を支援する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
活動指標名(式)		区立図書館と協定大学図書館との協力が両者の発展に相乗効果を生ずるとともに、より充実した資料や情報を区民に提供する。							
(1) 大学図書館ネットワーク会議		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(2)		(1) 大学図書館区民の館内閲覧者数							
(2)		(2)							

区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	回				7	4	175.0				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	人				383	580	58.0				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円				400	422	310	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費	千円				0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)	人				0.20	0.00	0.20		0.00	0.30	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0		1,820	1,820		2,730		
		非常勤職員分	千円	0	0		0	0		0		
	総事業費 + +	千円	0	0		2,220	2,242	3,040				
	単位あたりコスト ÷	円					320,286	760,000				
	財源	受益者負担分	千円				0	0		0		
		国・都等からの支出金	千円				0	0		0		
		特定財源計 +	千円	0	0		0	0		0		
差引:一般財源 -		千円	0	0		2,220	2,242	3,040				
受益者負担比率 ÷	%					0.0	0.0	0.0				

16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の16年度達成率%	活動指標(2)の16年度達成率%	16年度予算執行率%	105.5
計画どおり実行された。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	大学図書館との連携は前年度に一応周知がなされたためPR用ポスター費用分で17年度予算は減となったが、PRを継続して行うとともに講演会等の事業実施を行う。			

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	今年度は事業開始から2年目に入るが、単に大学図書館の利用にとどまらず、大学の専門的知識・情報を生かした講演会の開催等の検討など、区民にとって幅広い提携成果の提供を目指す方向性が出てきている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区内大学図書館の資料を活用できることに、区民からは概ね好評をいただいているが、連携協定時に当面参加は見合わせる旨意思表示のあった東京女子大学についても連携を望む声が区民から寄せられている。
	今後の予測	大学図書館、杉並区立図書館相互の図書資料の検索オンライン化や、相互の施設を利用した講演やイベントの開催、学生ボランティアを組織して図書館事業に協力を要請するなど多様な連携成果が期待できる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	区民が区立図書館には無い各大学図書館の専門的な図書資料が活用できるようになり、区民が行う調査・研究活動を更に支援できる体制が整えられた。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容: 各大学図書館の協力が得られるため、講演会謝礼等若干の事業費増は見込まれるものの、提携成果の拡大が期待できる。 連携大学の教授や助教授、講師の協力を得た講演会の開催等により、区民の知的欲求に応えることが出来る。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	大学連携による成果の提供については、図書館法17条の無料の原則適用外の部分も有るとされる。例えば今後講演会等の実施でテキスト等が必要な場合は参加者の自己負担とする。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	現在は、最小事業の範囲で予算計上をしており、成果の拡大を図る上では一定の事業費増が必要となるため。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 平成17年度、ネットワーク会議の協力で講演会を実施する。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 杉並区図書館ネットワーク会議により、相互の協力を推進する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 各大学との十分な協議・検討が必要なため期間は概ね5年間を目途とするが、オンラインで区立図書館と区内大学図書館の蔵書検索が可能とする他、大学の人材を活用した定期的な講演会の実施を行う。また、現在は参加していない東京女子大学の参入をはかる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 提携の成果を最大に発揮するためには、参加している全大学の協力が必要であり、図書資料の閲覧、貸出し以外の部分での協力が得られるか現在不明である。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	講演会の開催について実施の方向で事業を推進するため、講師謝礼等で事業費増が見込まれる。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館協議会運営				整理番号	845		枝番号	868				
担当部課		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	868			
係名 管理係				上位施策名				No						
予算事業名 図書館運営管理				コード	82360		図書館サービスの充実				63			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 57年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業									
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等									
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第2項									
	杉並区教育委員会の付属機関。				(2) 図書館法第14条									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区立図書館の運営に関し、中央図書館長の諮問に応じるとともに、図書館運営の改善等について、中央図書館長に対して意見を述べる。				(3) 杉並区立図書館条例、同運営規則									
事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				住民の代表である図書館協議会委員の意見を取り入れた図書館サービスを展開することによって、住民に対して利便性の高い図書館を目指す。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 開催予定回数				(1) 実際の開催数										
(2) 議題数				(2) 議題数										
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画		目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
							計画		実績					
指標	活動指標(1)		回	6	6	5	5	5	5	5	5	100.0		
	活動指標(2)		本	24	25	20	16	20	20	20	20	80.0		
	成果指標(1)		回	6	6	5	5	5	5	5	5	100.0		
	成果指標(2)		本	24	25	20	16	20	20	20	20	80.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	576		516		480		480		540	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.21	0.00	0.25	0.00	0.21	0.00	0.20	0.00	0.20		0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,907		2,249		1,911		1,820			1,820
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 + +		千円	2,483		2,765		2,391		2,300		2,360		
	単位あたりコスト ÷		円	413,833		460,833		478,200		460,000		472,000		
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0			0
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0			0
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0			0
差引:一般財源 -		千円	2,483		2,765		2,391		2,300		2,360			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		100.0		活動指標(2)の16年度達成率%		80.0		16年度予算執行率%		100.0		
		委員の任期満了に伴う改選時に欠員1名の補充を行ったが、協議会欠席委員もいたため当初予算配当額と同様の執行となった。												
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成16年9月以降、委員を8名から9名にして開催している。(定数10名)												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	発足当初、図書館のサービス等の協議が中心であったが、現在は、情報化・CS(住民満足度)等新たなニーズに対する図書館サービス展開や図書館運営のあり方等についての協議・検討が中心となってきている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし
	今後の予測	時代に対応した新たな図書館サービスの展開を図っていく上で、専門性の向上や活発化が求められるとともに、協働による運営として区民公募による委員の選出が必要である。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 学識経験者や社会教育団体推薦者などの委員から専門的な見地から意見をいただくことは、図書館運営に大変参考になっている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 議論等をより活発化させることにより、多くの意見の提案を得ることが出来る。 理由または具体的内容: 議案や資料についてメール等の手段を用いて連絡を密にとるなどし、委員との情報の共有化を進め、会議の活性化を図る。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 委員報酬は、「杉並区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例」で定められており、見直す余地はない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 委員報酬は、「杉並区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例」で定められており、見直す余地はない。また、開催数、委員数についても現状が妥当であると考える。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	理由: 公募委員はいないが、杉並区内に設置された学校が推薦する当該学校の代表者、杉並区内に事務所を有する社会教育団体が推薦する当該団体の代表者、杉並区社会教育委員、学識経験者で構成されているため。 理由: 杉並区内に設置された学校が推薦する当該学校の代表者、杉並区内に事務所を有する社会教育団体が推薦する当該団体の代表者、杉並区社会教育委員、学識経験者で構成されているため。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 区民公募による委員の枠を確保する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成18年9月の改選時期にあわせて、協議会委員の選出団体別の構成比を改め、区民公募枠を設ける。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成17年度までは委員定数より少ない委員数で予算見積りがされているが、18年度からは条例上の定数で予算見積りを行うため

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		閲覧用図書の収集及び装備				整理番号	846		枝番号		
担当部署名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	869
係名 資料係				上位施策名				No			
予算事業名 図書館運営管理				コード 82360		図書館サービスの充実				63	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 25年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第2項						
	図書等資料				(2) 図書館法第3条						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区民在住・在勤・在学者の学習・文化要求に応えるため、図書資料を幅広く豊富に収集する。 また、この資料が長期に渡り利用されるようにビニールカバーを貼る作業(装備)を行う。				(3) 杉並区立図書館条例、同運営規則						
活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
(1) 閲覧用図書の収集(購入冊数 + 受贈冊数)				幅広い分野の資料を収集・保存することにより、利用者の満足度の向上を図る。							
(2) 購入タイトル数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
				(1) 全蔵書冊数 ÷ 利用登録者数							
				(2) 当該年度出版タイトル数 ÷ 購入タイトル数							
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%
							計画	実績			
指標	活動指標(1)		冊	88,661	91,496	89,914	98,220	96,862	96,000	102.3	
	活動指標(2)		件	19,665	21,446	24,000	22,538	24,000	25,000	90.2	
	成果指標(1)		冊	15.60	15.45		15.59		17	91.7	
	成果指標(2)		%	34.10	28.40		33.50		40	83.8	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	195,465	195,271	198,603	196,588	201,330	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> * 職員数には地域館職員の「図書の選定及び収集」事務の従事職員も含む。		
	(内)委託費		千円	21,998	22,726	21,616	23,847	25,536			
	職員数(常勤 非常勤)		人	22.13 1.00	21.39 1.00	21.96 1.00	21.96 0.00	27.30 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	201,007	192,382	199,836	199,836	248,430			
		非常勤職員分	千円	2,935	2,759	2,880	0	0			
	総事業費 + +		千円	399,407	390,412	401,319	396,424	449,760			
	単位あたりコスト ÷		円	4,505	4,267	4,463	4,036	4,643			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	399,407	390,412	401,319	396,424	449,760				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		109.2	活動指標(2)の16年度達成率%		93.9	16年度予算執行率%	99.0		
		収集及び保存(装備)においては、いずれも目標を達成している。									
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		図書購入と装備のあり方、作業手順の見直しを検討した。また、選書内容の充実と図書の整理保存について検討中である。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	出版点数の大幅な増加で資料収集の対象が増大しているため、収集できるタイトル数は伸び悩んでいる。また本にビニールシートを貼る装備の作業については民間業者に委託している。平成13年度からはその一部をシルバー人材センターに委託することにより経費の削減に努めている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	新刊本をもっとたくさん、購入してほしい。 リクエストの多い図書について、複本を増やしてほしい。
	今後の予測	出版物のタイトル数は、ここ10年間で50%以上増加している。こうした状況の中、辞書や百科事典等の一部は電子出版物としてCD-ROMやDVDで出版されている。こういった、本のデジタル化は、増加傾向にある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由：成果指標の数値は充分であるとは言えないが、館自体の選書は勿論のこと、リクエスト対応にも力をいれている。また装備をすることにより多くの区民の使用や長期保存に耐える資料となっており、利用者への貢献度は高い。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容： 理由または具体的内容：図書を装備込みでの購入に切り替え人件費および装備費の削減を図り資料の購入費率を上げるよう検討する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由：受益者負担については、図書館法第17条により、公立図書館における入館料等の無料が規定されている。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由：図書購入と装備方法の抜本的見直し。ただし見直しは、電算システムの大規模な改正を伴うので、電算システムの次期入替に合わせて行う。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当](具体的内容)	理由： 理由または具体的内容：発注本の装備を委託
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容)	協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 資料購入方法や作業手順の見直しを継続して行い、図書購入と装備のあり方を抜本的に見直し事務の効率化を図ることにより資料費の捻出に努める。 また、今後の資料収集については、資料のデジタル化についても視野に入れ利用者用インターネットPCの導入に伴い積極的に収集する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	図書資料の収集状況は現在年間出版点数の30%程度である。これは図書の出版点数が激増していることが大きな要因になっているためであり、図書の購入タイトル数を増やすことにより解決するものではない。「これからの図書館運営のあり方」で総額の枠内での運営が提起されているため現在の予算の範囲内で選書の充実を努力する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者・高齢者に対する図書館サービスの提供				整理番号	847		枝番号						
担当部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	871				
係名				サービス係(団体・障害者サービス担当)				上位施策名		No					
予算事業名				図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実		63				
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		58年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区立図書館条例、同運営規則								
	杉並区に在住、在勤、在学の障害者及び高齢者で図書館利用に障害がある方						(2) 杉並区立図書館対面朗読実施要領								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)						(3) 杉並区立中央図書館点字資料・録音資料貸出実施要領								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)						事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)									
(1) 視覚障害者に対して、対面朗読の提供、録音図書、録音雑誌の貸出、点字図書、拡大写本の貸出を行なっている。						図書館利用に障害がある障害者・高齢者が、図書館のサービスを受けられる。									
(2) 図書館への来館が困難な障害者・高齢者に対し、郵送による図書館資料の貸出を行なっている。															
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 対面朗読実施時間数						(1) 対面朗読利用者数									
(2) 録音図書、録音雑誌(複製版)作成数						(2) 録音図書利用者数									
指標	区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値20年度	目標値に対する16年度の達成率%						
					計画	実績									
	活動指標(1)	時間	962	858	1,000	848	1,000	1,500	56.5						
	活動指標(2)	巻	16,902	15,918	18,000	14,060	18,000	20,000	70.3						
	成果指標(1)	人	481	429	550	426	550	600	71.0						
成果指標(2)	人	3,117	2,838	2,900	2,524	3,000	3,500	72.1							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,446	2,063	2,842	1,983	2,842	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)						
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0							
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.80	0.00	1.40	0.00	0.60			0.50	1.13	0.20	1.00	0.20
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	25,432	12,592	5,460	10,283	9,100							
		非常勤職員分	千円	0	0	1,440	576	576							
	総事業費 ++		千円	27,878	14,655	9,742	12,842	12,518							
	単位あたりコスト ÷		円	28,979	17,080	9,742	15,144	12,518							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0				
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0				
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0				
差引:一般財源 -		千円	27,878	14,655	9,742	12,842	12,518								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	84.8	活動指標(2)の16年度達成率%	78.1	16年度予算執行率%	69.8	対面朗読の利用実績及び事務費の節減により執行残が生じた。							
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		本事業の委託について、引続き検討する。													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高齢化の進行により、登録者の増加が見られるが、視覚障害者の利用実績は減少傾向にある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	自宅での対面朗読の希望や、図書等の宅配の要望がある。
	今後の予測	高齢化の進行により、図書館利用に障害がある方へのサービスの増加が見込まれる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由： 図書館利用に障害がある障害者・高齢者に対し、読書等の機会を提供することに寄与している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容： 事業費の主な内容がボランティア謝礼のため、成果の向上を図るには事業費の増が見込まれる。 理由または具体的内容： 対象者に対し、事業のPRを積極的に行ない利用者を掘り起こす。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容： 図書館法第17条の規定による。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容： 録音図書、録音雑誌等の貸出業務(テープのダビング、郵送処理など)について、ボランティア団体等への委託が可能である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由： 理由または具体的内容： 対面朗読や録音図書、録音雑誌の製作は、専門的スキルを要するため、朗読者講習会等を修了し、朗読者として図書館に登録したボランティアに依頼している。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み これまでは、朗読の専門的スキルを要する部分についてボランティアの協力得てきたが、今後は録音図書、録音雑誌等の貸出業務(テープのダビング、郵送処理など)も含め、ボランティア団体等への委託を検討する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 録音図書、録音雑誌等の貸出業務(テープのダビング、郵送処理など)について、ボランティア団体等への委託が実施できるよう検討する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 来年度は、現行どおりとする。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域・家庭文庫の育成				整理番号	848		枝番号		
担当部課名		中央図書館		コード	620131	連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	872	
係名					児童サービス担当			上位施策名		No	
予算事業名					図書館運営管理			図書館サービスの充実		63	
事業開始年度					○昭和 ●平成 16年度			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
事業の種類					<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等			
対象					<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(1) 杉並区立図書館条例・同運営規則			
区内で活動している地域・家庭文庫								(2) 杉並区地域・家庭文庫育成要綱・審査会設置要領			
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）					地域・家庭文庫の活動のための図書を充実するため、各文庫が希望する絵本や児童図書を審査した上、貸与している。			事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）			
活動指標名(式)					(1) 助成対象文庫数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			
					(2) 文庫利用者数			(1) 文庫開催回数			
					(2) 文庫図書利用冊数						
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		団体	9	9	9	8	9	9	88.9	
	活動指標(2)		人	4,767	5,196	5,200	5,351	5,400	5,500	97.3	
	成果指標(1)		回	319	303	300	277	280	300	92.3	
	成果指標(2)		冊	6,844	8,280	7,000	9,547	9,600	9,700	98.4	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	840	839	840	840	840	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	908	899	910	910			910
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	1,748	1,738	1,750	1,750	1,750			
	単位あたりコスト ÷		円	194,222	193,111	194,444	218,750	194,444			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	1,748	1,738	1,750	1,750	1,750				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	88.9	活動指標(2)の16年度達成率%	102.9	16年度予算執行率%	100.0			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			16年度は、地域家庭文庫育成予算84万円・子ども読書推進計画事業予算に42万円計上されていた。17年度は、経常経費84万のみ計上された。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始当初は、5館であった区立図書館がの現在11館になり、図書館ネットワークの整備が進んでいること、子どもの遊びの形態の変化している。少子化傾向などにより文庫の数が減少した。当初20以上あった文庫は、17年3月末現在8文庫である。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	杉並文庫サークル連絡会からは、事業継続などの要望がある。
	今後の予測	今後も、広報すぎなみ・区のホームページ・図書館のホームページに年2回募集を掲載する。ブックスタートパックに文庫一覧を入れる。文庫活動が、従来の図書館サービスのプランクエリアを埋める役割から、独自性を持った文庫活動に変化していく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由) ▼	地域図書館の整備が進んでいる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) ▼ 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容) ▼	事業費は本の購入費であるため 各文庫の自主性を尊重する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ▼	理由または具体的内容:
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容) ▼	現在各文庫の希望図書は、すべて購入して貸与しているが、一部団体貸出用の本を活用する。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容) ▼ 協働等の相手 ▼ 協働等の形態 ▼	文庫活動は、主宰者の独自の考えで行われているものである。 理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 ▼ 協働等の形態 ▼	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 育成対象となっている文庫関係者と図書館関係者で構成されている地域家庭文庫育成審査会のあり方を見直し、連絡会を設置し、それぞれの独自の文庫活動を支援していく。会議室の使用、絵本・児童図書の貸与、図書や子どもに関する情報の提供、文庫活動の紹介など必要に応じて支援する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 地域・家庭文庫と図書館との間の協力関係には長い歴史がある。地域・家庭文庫育成審査会のあり方についての理解を求め、十分に意思疎通を図る。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 大幅な文庫数の変化が見込めないため

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館運営の調査研究・司書養成				整理番号	849		枝番号						
担当部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	873				
係名				管理係				上位施策名		No					
予算事業名				図書館運営管理				コード		82360		図書館サービスの充実		63	
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		57年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第2項 (2) 図書館法第14条 (3) 杉並区立図書館条例、同運営規則								
	司書を希望する職員				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 高い技術と知識を備えた司書・司書補を育成、配置することにより、利用者に対して情報提供や利用案内などを含めた質の高いサービスを提供する。										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				大学が開催する司書・司書補講習に職員を派遣し、図書館職員として高い技術と知識を備えた司書・司書(補)を育成する。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 司書・司書補養成者数				(1) 司書率(司書・司書補 ÷ 正規職員数)											
(2)				(2)											
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%						
					計画	実績									
指標	活動指標(1)		人	4	4	3	4	4	4	100.0					
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	41.6%	43.8%	40.3%	40.9%	39.5%	40.0%	102.2					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	557	479	611	491	609	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)						
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0							
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.50	0.00	2.50	0.00	2.25			0.00	1.20	0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	22,708	22,485	20,475	10,920			10,920				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0				
	総事業費 ++		千円	23,265	22,964	21,086	11,411	11,529							
	単位あたりコスト ÷		円	5,816,250	5,741,000	7,028,667	2,852,750	2,882,250							
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0				
差引:一般財源 -		千円	23,265	22,964	21,086	11,411	11,529								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		133.3		活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%		80.4					
		16年度当初予算内で4名講習会に参加させ、司書(補)資格を習得した。													
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)															

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	司書・司書補の養成を行ってきたため、司書率は40%前後で推移しているが、17年度から一部図書館の委託を実施しており、委託館は司書率が高い傾向が生じている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	住民の意見は特にないが、図書館には多くの要望が寄せられており、その解決に向けた図書館サービスのあり方には司書・司書補の専門知識や技術が大いに必要となっている。
	今後の予測	図書館の委託化が進むことで全体司書率は向上するが、司書の技術・知識は経験によってレベルアップが図られるものであることから、現行事業の重要性は継続する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由： 司書資格の専門的職員の配置により、図書館利用者に対するサービス全体の充実を図っている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容：現在司書講習派遣は4名程度行っており、派遣職員も期待に応え全員資格選考に合格している。 理由または具体的内容：
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容： 講習会を受講する職員の一部負担も検討の余地はある。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容： 司書講習会参加費に値引き交渉の余地がないため
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	理由： 理由または具体的内容： 司書の養成については、大学等教育機関で行えず、区が直接行うことができないため。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・司書率を向上させるとともに、研修やOJTなどを通して司書の質を高めていく。 ・地域図書館の運営を委託するにあたり、スタッフにおける司書の人数(司書率)を契約の条件に含める。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 委託にあたっては司書率の増加が見込まれる一方、委託先の職員が比較的短期間で出入がある場合は、経験により培われる司書の技量の取得が難しいと考えられる。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	40%程度の司書率を確保するためには、過去の実績から考えると例年と同様4人程度の予算が必要であるため。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ブックスタート事業				整理番号	850		枝番号							
担当部課名		中央図書館		コード	620131	連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	874						
係名				児童サービス担当				上位施策名		No						
予算事業名				図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実		63					
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		16年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等									
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 子どもの読書活動の推進に関する法律 (2) 杉並区子ども読書活動推進計画 (3)									
	4ヵ月児健診受診者(保護者)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				保護者とあかちゃんと絵本を介して触れ合う暖かい時間を持つ機会を増やし、安定した気持ちで子育てができるよう支援する。											
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標												
(1) ブックスターパック配布数				(1) ブックスタートパック配布率												
(2) 0歳児利用者カード登録数				(2) 0歳児人口数(代)												
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%					
							計画	実績								
指標	活動指標(1)		セット	3,481	3,441	3,700	3,532	3,700	3,700	95.5						
	活動指標(2)		件	147	105		145									
	成果指標(1)		%	89	88	100	95	100	100	95.0						
	成果指標(2)		人	3,425	3,304		3,401									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,146	6,579	7,312	6,401	7,306	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)							
	(内)委託費		千円													
	職員数(常勤 非常勤)		人	3.00	0.00	2.90	0.00	2.80				0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	27,249	26,083	25,480	2,730	2,730								
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0								
	総事業費 ++		千円	33,395	32,662	32,792	9,131	10,036								
	単位あたりコスト ÷		円	9,594	9,492	8,863	2,585	2,712								
	財源	受益者負担分		千円												
		国・都等からの支出金		千円												
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0				
差引:一般財源 -		千円	33,395	32,662	32,792	9,131	10,036									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	95.5	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	87.5	執行残								
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		職員が中心となって行っていたブックスタートパック詰めをボランティア中心に移行していく。														

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	子育て支援の関連部署との打合せ会議、職員研修を実施し、開始当初に比べ、各部署との連携が出来てきた。図書館では、乳幼児連れの来館、乳幼児のお話会の参加が増えてきた。それに伴い保護者から図書館施設整備に関する要望が出てきた。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	「ブックスタートパックの絵本がきっかけで親子で読み聞かせを楽しんでいる。」「よい企画なので継続してほしい」事業電話による事業の問い合わせが多い。
	今後の予測	ブックスタートについて一般の理解の広がりに伴い、区の実施への期待が高まっていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区の子育て支援事業にとって、象徴的な意味をもっており、全国に先駆けて試行した事業である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 現在の事業費の大半がパック購入費である。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は	理由または具体的内容:
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: コストを下げると質の低下になる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: NPOブックスタートから絵本を廉価で購入している。ブックスタートに関する全国的な情報を受けている。保健センターにおけるパック配布、絵本と資料のパック詰めをボランティアの協力でやっている。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み NPOブックスタートにはボランティアの人材育成のためのプログラム(講座・研修)に協力してもらう。ボランティアには、パックの内容をセッとする作業を任せる。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 子育て支援の一環としての効果をもたらすため、保健衛生部と中央図書館との定例的な連絡会の開催するなどし、連携を促進するとともに情報の共有化を図る。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 図書館、児童館、保健センターなどの子育てに関わる職員に対して、合同で研修や連絡調整会議を定例的に開くことが難しい。そのため、OJTの推進により知識の向上を図るとともに、メール等の通信手段を利用して情報の共有化を図る。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 事業開始年度に行ったアンケートによると区民からの高い評価を受けている。また、保健センターの健診についても、現在の配布している四ヶ月健診の受診率が98パーセントを最も高い。そのため、配布の対象、時期、場所について、現状のとおり実施する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館拠点サービス事業				整理番号	851		枝番号						
担当部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	昨年度整理番号		875					
係名		サービス係				上位施策名			No						
予算事業名		図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実			63					
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		10年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区立図書館運営規則 (2) 杉並区ふれあい図書室運営要綱 (3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)												
	区内の図書館未整備地域で、区立小学校・児童館を利用して「ふれあい図書室」を3所(方南、善福寺、馬橋)開設し、ボランティアと協働して毎週1回図書の貸出と返却を実施している。		図書館未整備地域の住民に図書館サービスを提供する。												
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標													
(1) 年間開設日数		(1) 年間利用者数													
(2)		(2) 年間貸出冊数													
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画		目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		日	146		146		150		149		125	100	149.0	
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		人	3,877		4,638		5,000		5,315		4,000	3,000	177.2	
	成果指標(2)		冊	10,334		15,587		16,000		17,375		13,000	10,000	173.8	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0		1,360		1,519		632		1,292	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 平成17年11月3日の方南図書館開設により、方南ふれあい図書室は9月末日をもって終了する。		
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.60	0.00	0.15	0.00	0.23	0.00	0.55	0.00	0.30			0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	5,450		1,349		2,093		5,005				2,730
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0				0
	総事業費 ++		千円	5,450		2,709		3,612		5,637		4,022			
	単位あたりコスト ÷		円	37,329		18,555		24,080		37,832		32,176			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0				0
差引:一般財源 -		千円	5,450		2,709		3,612		5,637		4,022				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		99.3		活動指標(2)の16年度達成率%				16年度予算執行率%		41.6			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成17年11月3日の方南図書館開設により、方南ふれあい図書室は9月末日をもって終了する。これに伴い、今まで方南ふれあい図書室で従事していたボランティアは、ボランティアの希望に沿って何人かが馬橋、善福寺ふれあい図書室に移行する予定である。													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	図書室開設当初は職員2名で窓口業務を行っていたが、平成16年4月からはボランティア2名だけで窓口業務を行っている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特に受けていない。
	今後の予測	今年度の方南地域のように、未整備地域に区立図書館が整備・開設することによりふれあい図書室事業は廃止する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 少ない開室回数、短い開室時間ではあるが、地域の利用者にとっては身近な施設であり、利便性の点からいって貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 人件費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 図書室を開室する曜日が土、日曜日のため、新たにボランティアを募集してもなかなか集まらない。また途中で辞めるボランティアも多く、ボランティアは慢性的に不足状態である。 理由または具体的内容: ボランティアには半日1,100円の謝礼を支出しているが、開室日の増加、運営時間の拡大を図るならば、それ相応分の経費増額が必要である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 図書館法17条による「無料の原則」から困難である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 今後は廃止が見込まれている事業である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: ボランティアは図書の貸出と返却処理、リクエストと利用者登録の受付を行い、登録等の入力処理やポータブル端末等の機材の搬送は職員が行っている。また、急な用事等でボランティアが来れないときは、職員がその業務を補っている。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 図書館の未整備地域への建設に伴い、順次ふれあい図書室は廃止する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 廃止するまでの運営を支障なく行うためボランティアの確保が必要である。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	特になし

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子ども読書活動推進				整理番号	852		枝番号				
担当部課中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号					
係名 児童サービス担当		上位施策名				No							
予算事業名 図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実				63				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		16年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項										
	0歳から18歳までのすべての子ども		(2) 杉並区子ども読書活動推進計画										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 杉並区子ども読書活動推進計画に基づき、子どもたちが、読書に親しむ機会となる事業(講演会、子ども会、本の展示など)保護者や子どもたちへの読書啓発事業		(3)										
活動指標名(式)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)											
(1) 講演・講習会開催回数		・保護者・地域住民に子どもの読書への関心を高める。 ・子どもが本に対する興味を持つきっかけを作る。 ・子どもの読書環境を整備する。(図書館の児童書コーナー・行事の充実、小・中・高校との連携)											
(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 講演・講習会参加人数		(1) 講演・講習会参加人数											
(2)		(2)											
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
指標	活動指標(1)		回			22	22	22	23	95.7			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		人			1,500	1,556	1,600	1,650	94.3			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円			7,076	5,207	5,090	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円			603	310	480					
	職員数(常勤 非常勤)		人			1.50	0.00	1.59			0.00	1.40	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	13,650	14,469			12,740		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +		千円	0	0	20,726	19,676	17,830					
	単位あたりコスト ÷		円			942,091	894,364	810,455					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	20,726	19,676	17,830						
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	73.6	執行残					
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		新規事業											

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	新規事業
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	「子どもと絵本をつなぐ7回連続講座」の講師陣が充実していたよかった。「本の帯アイデア賞」受賞作品の展示を本庁ロビーで行った際、企画に対し「良い」「面白い」「継続してほしい」などの声が寄せられた。
	今後の予測	小・中学校の職業体験、調べ学習などに対する図書館のサポートがますます求められていく。保護者や地域の人々が読み聞かせを行うための方法を学びたいという要望が増えていく。講座、企画展、コンクール・賞への関心が集まっていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	国の法律の制定をうけて策定した計画であり、区民の子どもの読書への関心が高い。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 区の専門的職員(教員・医師・保健師・児童館職員・保育士など)や地域の人材を講師として活用することにより講座・講演の実施回数が増やせる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は	理由または具体的内容:
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在の事業費のまま、企画内容(質・量)を充実したい。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 講座の企画運営のサポート 理由または具体的内容: 昨年同様NPOブックスタートへ講師依頼
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 子育て支援関係職員意識啓発の講演会講師をNPOブックスタートへ依頼し、全国また世界各国の具体的な情報も伝えてもらう。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 子どもたちにとって親しみやすい事業にするため、企画・運営に中・高生の参加を促す。 また、区民が企画段階から参加する講座を増やす。さらに、講座の講師には、地域に住む学識経験者などを積極的に活用する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各専門分野の人材について情報の収集とデータの更新が不十分。図書館のネットワークに頼るだけでなく、広く情報を求めるとともに、人材リストなどを作成し、有効に活用する。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 区内在住の作家・文化人・大学ネットワークの協力を得て講座の充実を図る。「調べる学習賞」コンクールの区立小・中学校をはじめとする参加者数が年々増加。講演会・企画展などの充実。6月の「杉並区子ども読書月間」には、中央館・地域館で関連事業に取り組む。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		NPO・ボランティア等との協働				整理番号	853		枝番号			
担当部課名		中央図書館		コード	620131	連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号			
係名		管理係		上位施策名				No				
予算事業名		図書館運営管理		コード	82360	図書館サービスの充実						
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成 16年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 図書館法 (2) 地方自治法 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		図書館の運営に民間活力を導入する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 図書館運営に民間活力を導入する。							
	活動指標名(式)		(1) NPO、ボランティア、民間企業等に運営を委ねた図書館の数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) NPO、ボランティア、民間企業等に運営を委ねた図書館の数 (2)							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		館	0	0	0	0	2	3	0.0		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		館	0	0	0	0	2	3	0.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円			200		158		54,600	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円			0		0		54,600		
	職員数(常勤 非常勤)		人			0.80	0.00	0.97	0.00	0.80		2.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	7,280		8,827		7,280		
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0		5,760		
	総事業費 ++		千円	0	0	7,480		8,985		67,640		
	単位あたりコスト ÷		円						33,820,000			
	財源	受益者負担分		千円						0		
		国・都等からの支出金		千円						0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0		0			0
差引:一般財源 -		千円	0	0	7,480		8,985		67,640			
受益者負担比率 ÷		%			0.0		0.0		0.0			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%			活動指標(2)の16年度達成率%			16年度予算執行率%	79.0			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		委託対象館及び受託業者を選定し、平成17年4月1日からの委託を準備した。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	開始から間もないため、変化なし。		
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平成17年4月より民間企業に業務を委託した成田図書館では、待遇などで好評を得ている。計画館以外も委託し、節減した人件費を資料費等に回して欲しい、あるいは行政でしかできないことに専念して欲しいという声が寄せられている。		
	今後の予測	全国的に、図書館の民間委託の動きは加速する。業務委託でなく、指定管理者制度やPFIの導入も進む。		
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由： 人件費を1/3に節減。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容： 人件費の差が大きい。		
	成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容： 委託対象館の拡大。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容： 図書館法第17条		
協働等の現状	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容： 他区市の状況を見ても、現在の委託料を大幅に下げることが難しい。		
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由： 理由または具体的内容： 図書館運営全般		
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)			
	協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)			
協働等のあるべき姿	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	今後の具体的な取り組み 既存館の委託に取組む。		

今後の事業のあり方(中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 成田図書館に続き、17年度の(仮称)方南図書館及び19年度の(仮称)今川図書館の業務委託を円滑に進める。 21年度までに、 以外の地域図書館及び中央図書館の業務委託を進める。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	方南図書館の委託料の増加(5箇月分 12箇月分)